

「きく力」を総合的にチェックする聴覚認知バランサー

企業名	レデックス株式会社		
所在地	東京都町田市	資本金	22百万円
設立	2005年7月	従業員数	5名
コア技術	各種ソフトウェアの開発技術		

開発製品／技術の概要

- ・聴覚バランサーは、簡単なゲームに取り組むだけで聴覚の困りを推定することができるアプリとなる。
- ・繰り返しゲームをすることで「聴く力」を改善することが出来るため、高齢者はもとより発達障害児・発達障害者、語彙能力を向上させたい子どもにも有用となる。
- ・言語聴覚士（ST）が使うことで、聴覚の困りを簡単に判断することができる。

特徴・ポイント

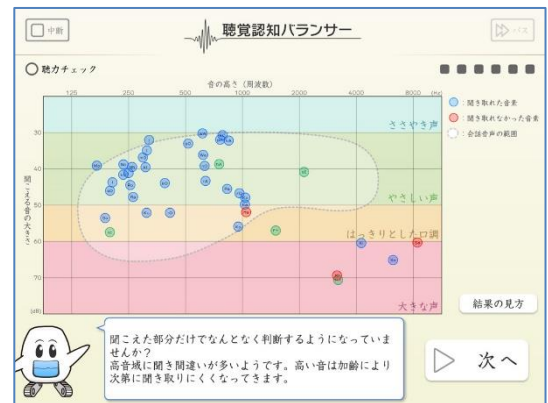
- ・「聴く力」を確認するアセスメント「聴力チェック」に加え、聴覚認知を様々な角度から刺激する6つのタスクを用意。
- ・課題音声の構成要素ごとに聞き取り具合を分析してグラフに表示することで、音の大小や高低でどの部分が聞き取れていないかが把握できる（特許出願中）。
- ・音素識別、前後歴識別、聴覚ワーキングメモリ、言語流暢性、語彙識別、聴覚視覚統合の力をそれぞれチェックしてトレーニングできる。よって聴覚情報処理障害の改善に有用となる。

主な実績

- ・大学病院、高齢者施設、教育機関など団体から個人まで幅広い採用実績を有する。

マッチング先への要望など

マッチング先として希望する業種／業界	連携することで想定される利点
① メディカルパートナー	・聴覚の問題を手軽に診断できる。
② 販売商社・補聴器の販売会社	・高齢者施設、あるいは補聴器を販売する企業との協業により業績拡大に繋がる。



NEDO事業の概要

- ・国際医療福祉大学との共同研究により、認知症に聴覚が関わっていることが確認されたことから、聴覚認知バランサーの開発に至った。
- ・NEDO事業を通じて、当アプリを開発でき、さらに顧客獲得のメドもたったことから、今後、アプリの横展開として、特別支援教育ソフトシリーズ（発達障害）を拡販していくことをめざしている。